

(施策評価表72)

【施策番号IV-14-②-2】

取組みの方向性	百年の礎を築く	戦 略	【戦略14】熊本アカデミズム ～「知」の集積を「地」の活力につなげます～	主な施策	◆国際人を育てる ～夢を持ち海外へ挑戦する若者への支援～
			②グローバルな人材の育成		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>・熊本の将来の活力を生み出すため、世界への飛躍を志す県内企業や芸術家、学生などの海外進出を支援する官民出資によるファンドを創設します。</p>	世界チャレンジ支援ファンド積立金	企画課	40,000 3,000	<p>・世界への飛躍を志す県内企業や芸術家、学生などの海外進出を支援する官民出資によるファンド創設に向け、民間事業者から第1号となる寄附金を受けた。</p> <p>・くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業の実施を通じて、6人程度の若手芸術家に海外への往復航空費を支援することにより、グローバルに活躍する機会を与えて文化芸術の振興を担う人材を育成する。</p> <p>・「熊本県世界チャレンジ支援基金条例」を制定(H25.3.8施行)したほか、H25の基金充当事業の選定等を進めた。</p>	<p>・ファンドの周知を図り、県内企業などを広く巻き込みながら、寄附金の協力をめざす。</p> <p>・くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業の実施を通じて、6人程度の若手芸術家に海外への往復航空費を支援することにより、グローバルに活躍する機会を与えて文化芸術の振興を担う人材を育成する。</p> <p>・熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業で、県内高校生をアメリカに派遣し、集中的な英語研修を受講させるとともに、英語教授法の研修を受講する引率教員を県内研修会等で講師として活用するなど、研修の成果普及に努める。</p> <p>・基金充当事業の執行状況や民間からの寄附状況等を勘案しながら、H26の基金充当事業を検討していく。</p>	<p>・積極的な広報展開、企業の個別訪問など、より多くの寄附金の協力を得るための取組みが必要である。</p> <p>・基金充当事業についての広報や、趣旨に沿った人員精進のための厳選な審査が必要であり、若者の更なる海外チャレンジ意欲を喚起するためにも、事業の進行状況や実績を広く周知する必要がある。</p> <p>・4カ年戦略に掲げた「世界への飛躍を志す県内企業の海外進出支援」に関する基金充当事業の拡充を検討していく必要がある。</p>	<p>・多くの寄附金の協力を得るための広報展開や、ニーズに応じた基金充当事業の検討などに取り組む。</p> <p>・海外進出を支援する芸術家を6人から10人に増やす。また、対象者の増加に向けて、事業の趣旨や概要、実績等を広く知ってもらおう広報活動を展開する。</p> <p>・本県高校生の海外大学への進学者増加の目標達成に向け、報告書や県教委ホームページ等を通して県内全域に事業の成果等を周知する。</p>
	世界チャレンジ支援ファンド推進費	企画課	296				
	-	-	-				
	くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業	文化企画課	2,000				
	-	-	-				
	熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業	高校教育課	8,606				
-	-	-					
<p>・小・中・高校の各段階において、国語教育を大事にするとともに、英語に関する学習意欲やコミュニケーション能力を育成し、世界の一流大学への留学や国際企業で活躍できる英語力を持つ人材を育てます。</p>	熊本時習館海外チャレンジ推進事業	私学振興課	15,466	<p>・留学・海外大学進学に関する説明会やセミナーの開催、また、海外進学等に必要の英語力を養成するTOEFL対策講座の実施等により、海外進学に必要な能力向上を支援した。</p> <p>・私立高校の海外高校留学者数は8人であり、年度目標を達成した。また、海外大学進学者数は5人であった。</p> <p>・県立高校を対象とした英語教育に関する状況調査の結果、高校での英語授業で発話のほとんど、または半分以上を英語で行っている教員は11.6%(H23:7.5%)、「英語I」の授業で言語活動のほとんど又は半分以上を英語で行っている生徒は18.2%(H23:8.9%)であった。</p> <p>・英語音声CD活用ミーティングの開催や「くまモン英語チャレンジ」の実施を通して英語音声CD「I CAN DO IT!」の効果的な活用を推進し、本県中学生の英語力アップに取り組んだ結果、H24年度熊本県学力調査で、英語が「好き」と回答した生徒は48.4%(H23:46.9%)、英語が「分かる」と回答した生徒は47.5%(H23:46.4%)であり、年度目標を達成した(※いずれも中1～中3の平均値)。</p>	<p>・海外大学進学を推進する「海外チャレンジ塾」を新たに開講。海外大学に進学できる英語力を養成するとともに、海外進学に対応できる支援体制を構築する。</p> <p>・英語教員を対象とした研修会及び英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組事業の拠点校での研究成果の普及により、英語授業で、発話のほとんど又は半分以上を英語で行っている教員の割合を50%に向上させる。</p> <p>・道徳教育用郷土資料「熊本の心」を土台とした、郷土熊本の自然、伝統、文化、先人等についての英語読み物資料を作成するとともに、既存の英語教材(英語音声CD、英語DVD等)の活用を推進し、英語が「好き」「分かる」と回答する中1～中3の生徒の割合をH27年度の目標値に近づける。</p>	<p>・現状として、海外留学や海外大学進学に対する高校生の意識は高くはないと思われるため、海外へ挑戦する意識の醸成及び進学の実績づくりに取り組む必要がある。</p> <p>・研究拠点校4校を指定し、新学習指導要領に準拠した英語による言語活動(指導法)及び評価の開発を行っていくが、拠点校での研究の成果をいかに県全体に普及させるかが課題である。</p> <p>・英語教師の指導力向上と英語学習環境の整備を進めていく必要がある。</p>	<p>・海外高校への留学者数(私立分)をH24年度からH27年度までの4年間で累計40人にする。</p> <p>・州立モンタナ大学等のモンタナ州の大学に毎年コンスタントに複数人入学させる。</p> <p>・道徳教育用郷土資料「熊本の心」を土台とした英語読み物資料の作成、配付や英語音声CD、英語DVDの活用の一層の推進を図ることにより、県学力調査における生徒対象の意識調査で、英語が「好き」「分かる」と回答する中1～中3の生徒の割合を50%以上にする。</p>
	熊本時習館海外大学進学支援事業うち海外大学進学支援事業	私学振興課	2,800				
	英語授業改善プロジェクト	高校教育課	2,341				
	-	-	2,146				
	熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業	高校教育課	2,596				
	くまもと中学生英語力アップ支援事業	義務教育課	8,606				
	-	-	-				
	-	-	18,936				
	-	-	2,756				
	-	-	-				
-	-	-					
<p>主な施策のまとめ</p>				<p>●世界への飛躍を志す県内企業や芸術家、学生などの海外進出を支援する官民出資によるファンドを創設。民間事業者から第1号となる寄附金を受領。</p> <p>●H24年度熊本県学力調査の結果、英語が「好き」と回答した生徒は48.4%(H23:46.9%)、英語が「分かる」と回答した生徒は47.5%(H23:46.4%)であり、年度目標を達成(※いずれも中1～中3の平均値)。</p>	<p>●ファンドの周知を図り、県内企業などを広く巻き込みながら寄附金の協力を得る取組みを実施。</p> <p>●くまもと若手芸術家チャレンジ事業と熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業により、海外へ挑戦する若者を支援。</p> <p>●海外大学進学を推進する「海外チャレンジ塾」を新たに開講。</p>	<p>●積極的な広報展開、企業の個別訪問等、より多くの寄附金の協力を得る取組み。</p> <p>●基金充当事業の拡充の検討。</p> <p>●海外へ挑戦する意識の醸成及び進学の実績づくり。</p>	<p>●多くの寄附金の協力を得るための広報展開やニーズに応じた基金充当事業の検討。</p> <p>●海外高校への留学者数(私立分)が累計40人となるよう展開。</p>